

日本文化研究(演劇)Ⅱ

科目ナンバリング ARL-202
選択 2単位

細田 明宏

1. 授業の概要(ねらい)

近世演劇の一つである人形浄瑠璃(文楽)について学びます。人形浄瑠璃はおよそ400年前に成立し、近世期を通じて発展し、近代以降も多くの人々に親しまれています。当期は代表的な作品である『菅原伝授手習鑑』を取り上げることでその特質について理解を深めます。

2. 授業の到達目標

近世演劇の一つである人形浄瑠璃について理解を深めること、そしてその特色を他人に説明できること。

3. 成績評価の方法および基準

期末試験(60%)、小テスト・レポート(20%)、平常点(20%)を合わせて評価します。なお期末試験に代えてレポートを課す場合もあります。

4. 教科書・参考文献

5. 準備学修の内容

事前に授業内容の概要を配布(PDFファイル)するので、それを読んでおくこと。なおその概要は、プリントアウトまたは要点をノートに書くなどして授業に臨んでください。

6. その他履修上の注意事項

7. 授業内容

- 【第1回】 人形浄瑠璃の概要
- 【第2回】 文楽の舞台
- 【第3回】 人形浄瑠璃の興行
- 【第4回】 時代物浄瑠璃の上演形式
- 【第5回】 『菅原伝授手習鑑』初段
- 【第6回】 『菅原伝授手習鑑』二段目・道行
- 【第7回】 『菅原伝授手習鑑』三段目その1
- 【第8回】 『菅原伝授手習鑑』三段目その2
- 【第9回】 『菅原伝授手習鑑』三段目その3
- 【第10回】 『菅原伝授手習鑑』四段目その1
- 【第11回】 『菅原伝授手習鑑』四段目その2
- 【第12回】 『新版歌祭文』野崎村(中)
- 【第13回】 『新版歌祭文』野崎村(切・前半)
- 【第14回】 『新版歌祭文』野崎村(切・後半)
- 【第15回】 まとめ(期末試験)